

神戸市ネットモニターアンケート調査結果

テーマ	文化振興事業について
調査期間	平成27年7月9日～22日
対象モニター数	280名
回答モニター数	198名（回答率70.7%）

【調査結果概要】

神戸市では、震災10年の節目である平成16年に、震災の経験と文化・芸術の力を世界へ発信することをうたって「神戸文化創生都市」を宣言しました。その後10年、従前からの事業も含め、様々な文化振興の取り組みを行ってきましたが、これらに対する皆さんのご意見を、主要事業である「神戸ビエンナーレ」と「神戸国際フルーツコンクール」を中心にお伺いしました。

<文化振興事業全般について>

市または神戸市民文化振興財団が実施する8つのイベントのうち、「神戸まつり」、「神戸ビエンナーレ」などの屋外型イベント5件が、認知度の上位を占める結果となりました。屋内型のイベントで最も認知度が高かったのは「神戸国際フルーツコンクール」で、約3割でした。施設・団体や制度等の11項目のうち、「神戸文化ホール」「区民センター・勤労市民センター」は8割以上の方が知っていましたが、「神戸文学館」「文化功労者表彰」など8項目で3割を下回る結果になりました。今後、各事業について、一層の魅力向上や広報強化に努め、より多くの方々の利用や参加を図っていきます。

<～港で出会う芸術祭～神戸ビエンナーレについて>

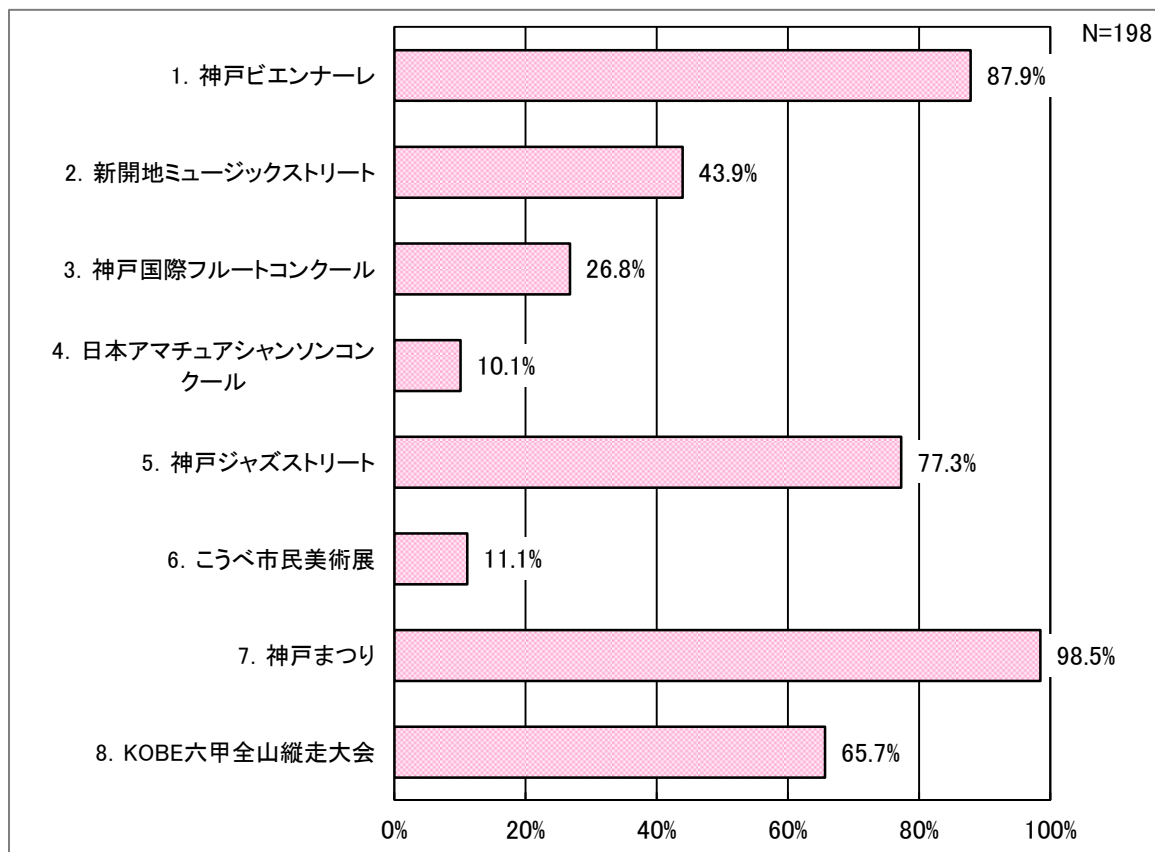
「神戸ビエンナーレ」は第5回目を迎え、認知度は約9割とかなり高い結果となったものの、「行ったことがある」は4割程度にとどまり、行かなかった理由として「興味がなかった」「内容がわからなかった」という回答が多くありました。広報の面では、広報紙KOBE、ポスター・ちらしによる広報力が高いことがわかりました。この結果を踏まえ、神戸ビエンナーレについて、これまで以上にその魅力を具体的に伝えるよう広報強化に努めていきます。

<神戸国際フルーツコンクールについて>

コンクールの開催について、条件付きも含めると6割近い方が「継続」を支持しており、「わからない」が3割、「廃止」が1割という結果になりました。条件付き継続を選んだ方の半数以上が、見直しのポイントとして「財源確保」と「広報強化」を挙げました。この結果を踏まえ、財政負担のあり方なども検討したうえで、市としてこのコンクールをどうしていくのかを慎重に判断していきます。

問1 市または公益財団法人神戸市民文化振興財団が実施している主な文化事業・取り組みについてお聞きします。

(1) 次のイベントについて、「知っている」または「聞いたことがある」ものを選択してください（すべて選択）。

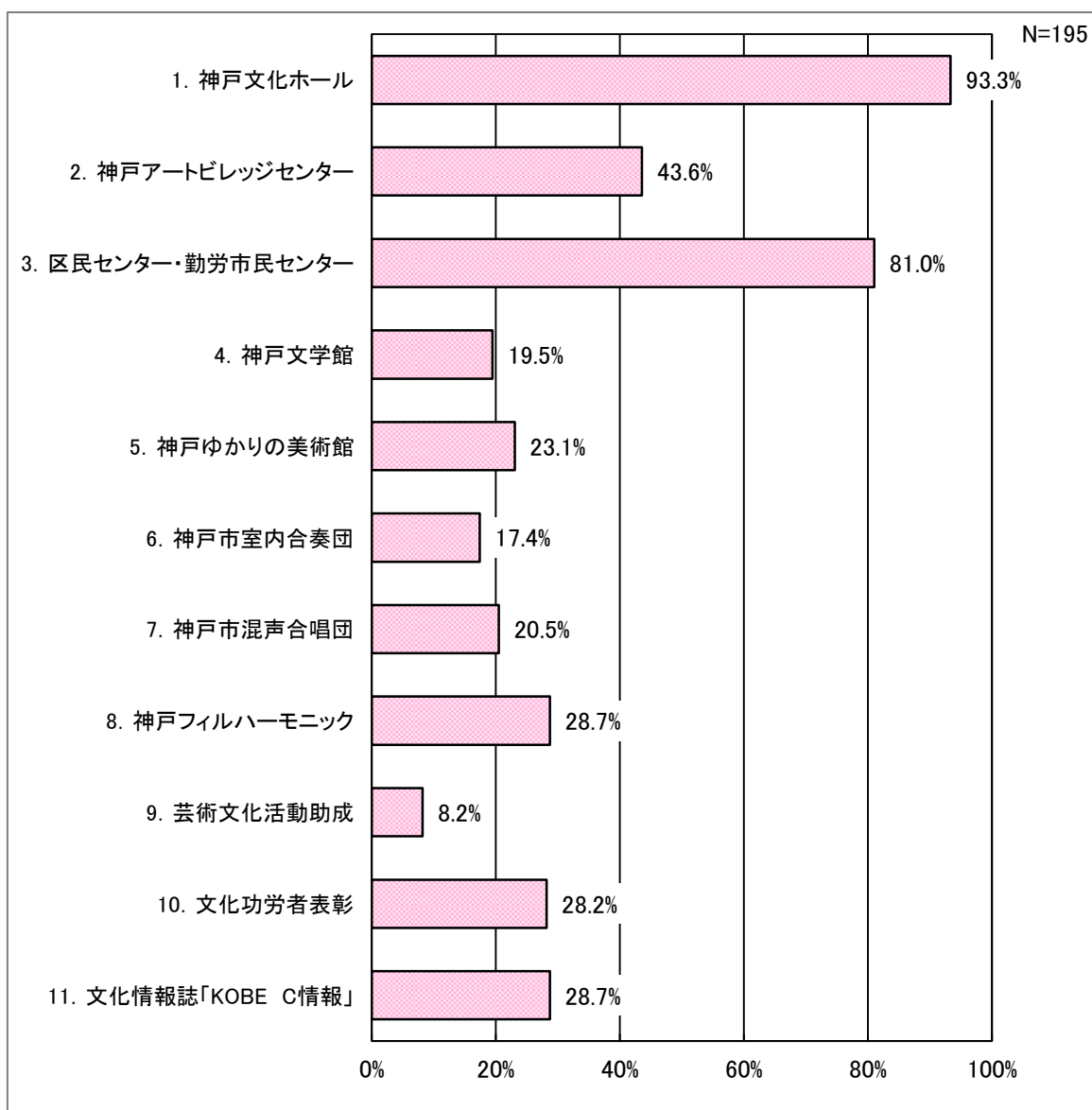


【各イベントのHP】

- 神戸ビエンナーレ**：現代アートをはじめ、書・いけばな・音楽など多彩な芸術文化が集結する2年に1度の「港で出会う芸術祭」。 <http://www.kobe-biennale.jp/>
- 新開地ミュージックストリート**：5月に新開地一帯で開催される一大音楽イベント。新開地音楽祭、神戸新開地ジャズヴォーカルクイーンコンテスト等。 <http://shinkaichi.or.jp/ongakusai>
- 神戸国際フルートコンクール**：世界の若き有望なフルーティストための登竜門として、4年に1度開催される国際コンクール。世界3大フルートコンクールと言われる。 <http://www.city.kobe.lg.jp/culture/event/competition/index.html>
- 日本アマチュアシャンソンコンクール**：全国6地区での予選会を経て、6月に神戸で本選を開催。 http://www.kobe-bunka.jp/new/31st_chanson_zenkoku

5. **神戸ジャズストリート**：北野坂のライブハウスをめぐりながら「ジャズのはしご」が楽しめる秋の一大ジャズイベント。<http://www.kobejazzstreet.gr.jp/>
6. **こうべ市民美術展**：市民の公募による美術作品展。開催時期にちなんで「春の市展」とも。<http://www.kobe-bunka.jp/new/shiten40>
7. **神戸まつり**：5月に開催される神戸最大のお祭り。フラワーロードでのパレード等。
<http://www.kobe-matsuri.com/>
8. **KOBE 六甲全山縦走大会**：11月に開催される六甲全山（須磨～宝塚）を歩く大会。
<http://www.city.kobe.lg.jp/culture/event/rokko/>

(2) 次の施設、団体や制度等について、「知っている」または「聞いたことがある」ものを選択してください（すべて選択）。



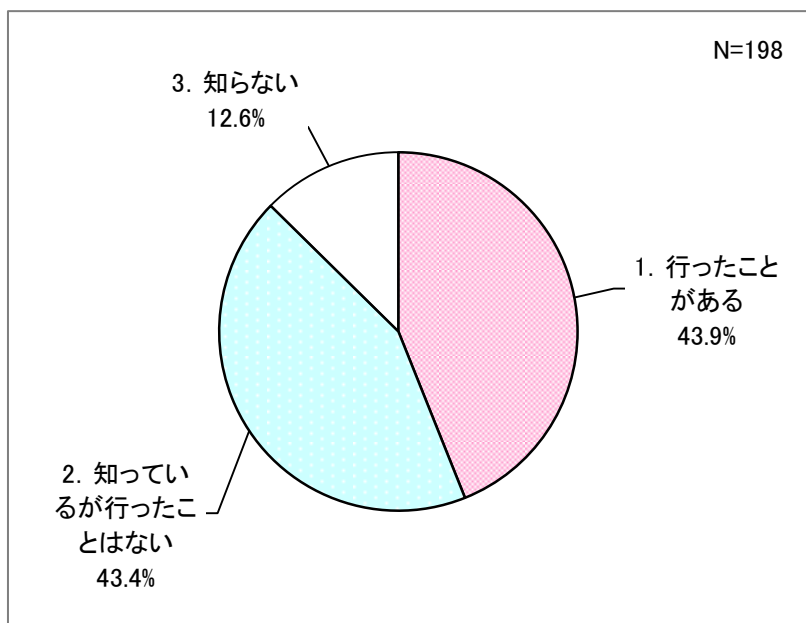
【各施設、団体、制度等のHP】

1. **神戸文化ホール**：中央区大倉山にある舞台芸術の中核施設。昭和 48 年開設。
<http://www.kobe-bunka.jp/hall/>
2. **神戸アートビレッジセンター**：兵庫区新開地にある演劇・美術等の専門文化施設。平成 8 年開設。
<http://kavc.or.jp/index.html>
3. **区民センター・勤労市民センター**：各区にある区民や勤労市民のための文化向上・福祉増進等を目的とする施設。
区民センター <http://www.kobe-bunka.jp/facilities/>
勤労市民センター <http://www.kobe-kinrou.jp/shisetsu/>
4. **神戸文学館**：灘区にある神戸ゆかりの文学作品の収集・展示等を行う施設。平成 18 年開設。
<http://www.kobe-np.co.jp/info/bungakukan/index.html>
5. **神戸ゆかりの美術館**：六甲アイランドにある神戸にゆかりのある芸術家の美術作品の収集・展示等を行う施設。平成 19 年開設。
<http://www.city.kobe.lg.jp/culture/culture/institution/yukarimuseum/>
6. **神戸市室内合奏団**：神戸市によるプロの弦楽合奏団。昭和 56 年設立。
<http://kobe-ensou.jp/ensemble/index.html>
7. **神戸市混声合唱団**：神戸市によるプロの混声合唱団。平成元年設立。
<http://kobe-ensou.jp/chorus/index.html>
8. **神戸フィルハーモニック**：プロとアマチュアがともに研鑽する市民オーケストラ。昭和 54 年設立。
<http://www.kobephilharmonic.jp/>
9. **芸術文化活動助成**：市民が行う芸術文化活動への助成制度。会場使用料への助成と大規模事業に対する特別助成がある。
<http://www.city.kobe.lg.jp/culture/culture/enterprise/support/index.html>
10. **文化功労者表彰**：神戸市の文化の発展に顕著な貢献のあった個人や団体に贈呈。文化賞、文化奨励賞、文化活動功労賞の 3 賞。
http://www.city.kobe.lg.jp/culture/culture/enterprise/commendation/bunkashou_top.html
11. **文化情報誌「KOBE C 情報」**：市内及び近郊の文化事業を紹介する月刊情報誌。
<http://www.kobe-bunka.jp/c/>

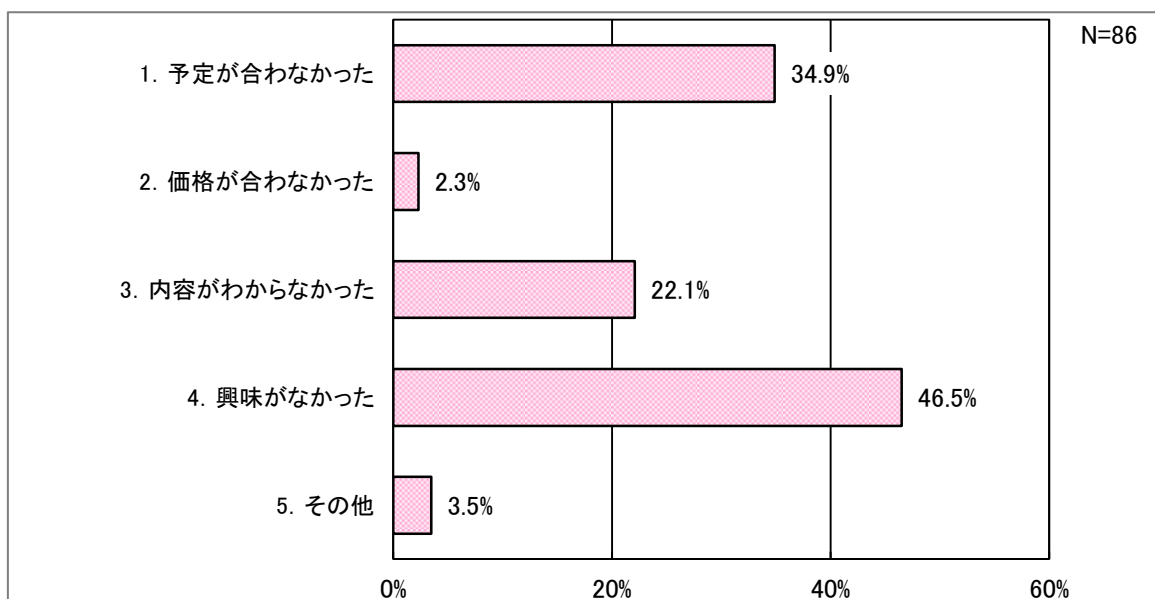
<～港で出合う芸術祭～神戸ビエンナーレについて>

神戸ビエンナーレは、神戸に国内外の芸術文化の力を結集してアートの更なる飛躍を図るとともに、まちの賑わいづくりや活性化につなげることを目的として、平成19年(2007年)から2年に1度開催しています。

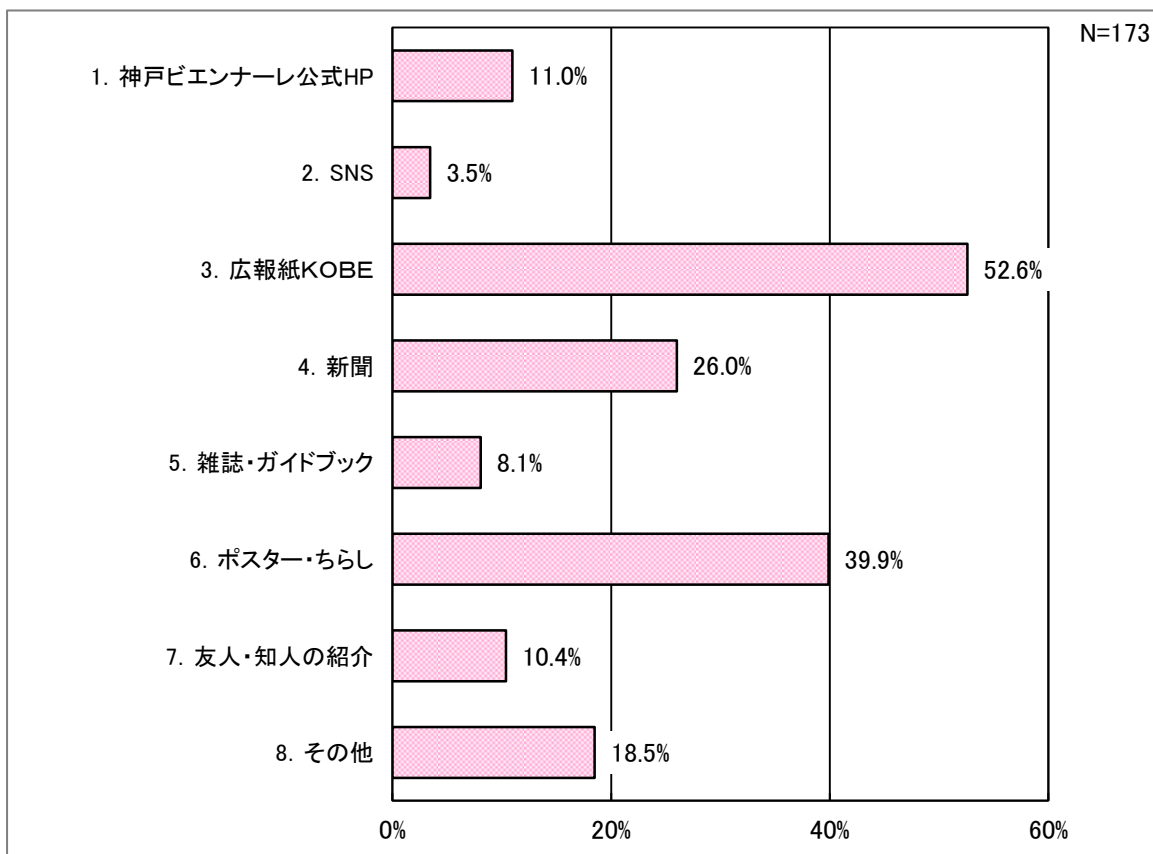
問2 「神戸ビエンナーレ」に行ったことがありますか。



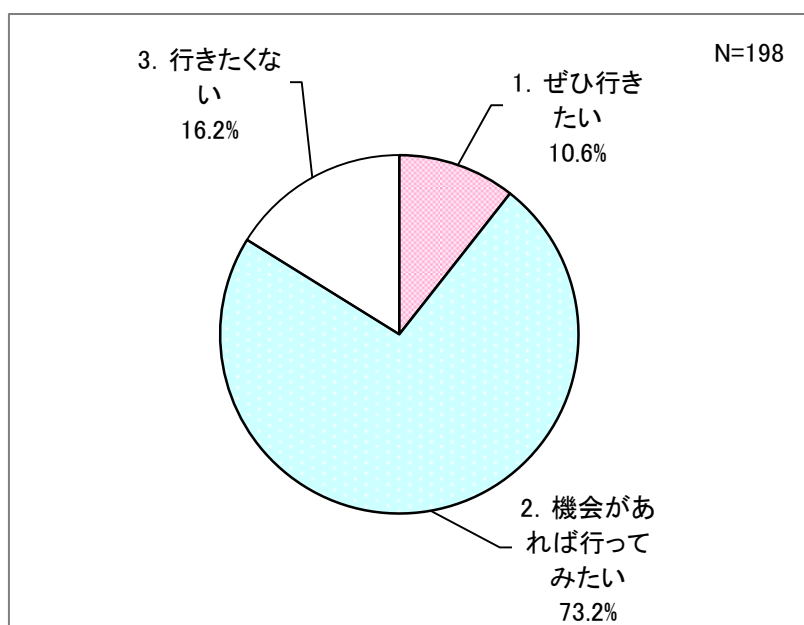
問2-1 <問2で、「2. 知っているが行ったことはない」を選択した方> 行かなかった理由は何ですか (すべて選択)。



問2-2 <問2で、「1.行ったことがある」「2.知っているが行ったことはない」を選択した方>神戸ビエンナーレをどこ（何）で、知りましたか。



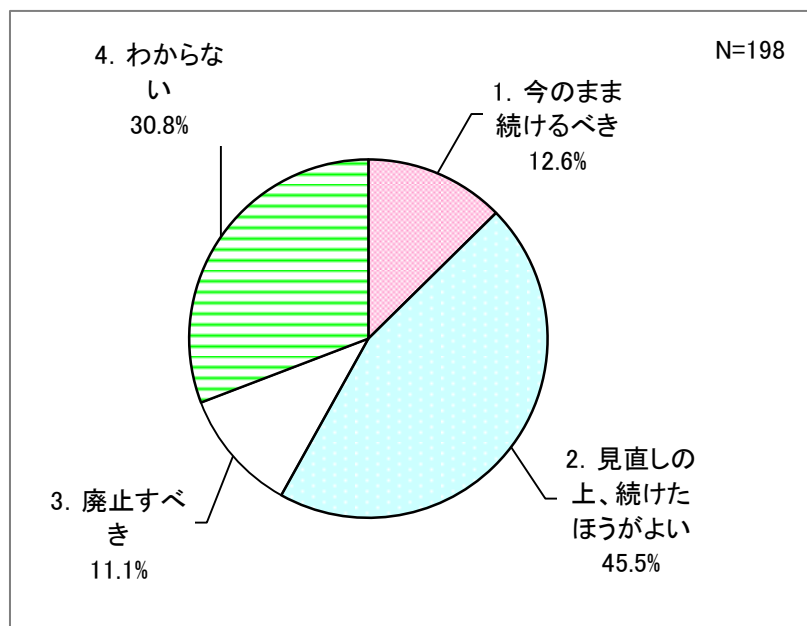
問3 神戸ビエンナーレ2015は、「スキ。」をテーマに、9/19（土）～11/23（月・祝）まで開催する予定です。今秋の神戸ビエンナーレ2015に行きたいと思いませんか



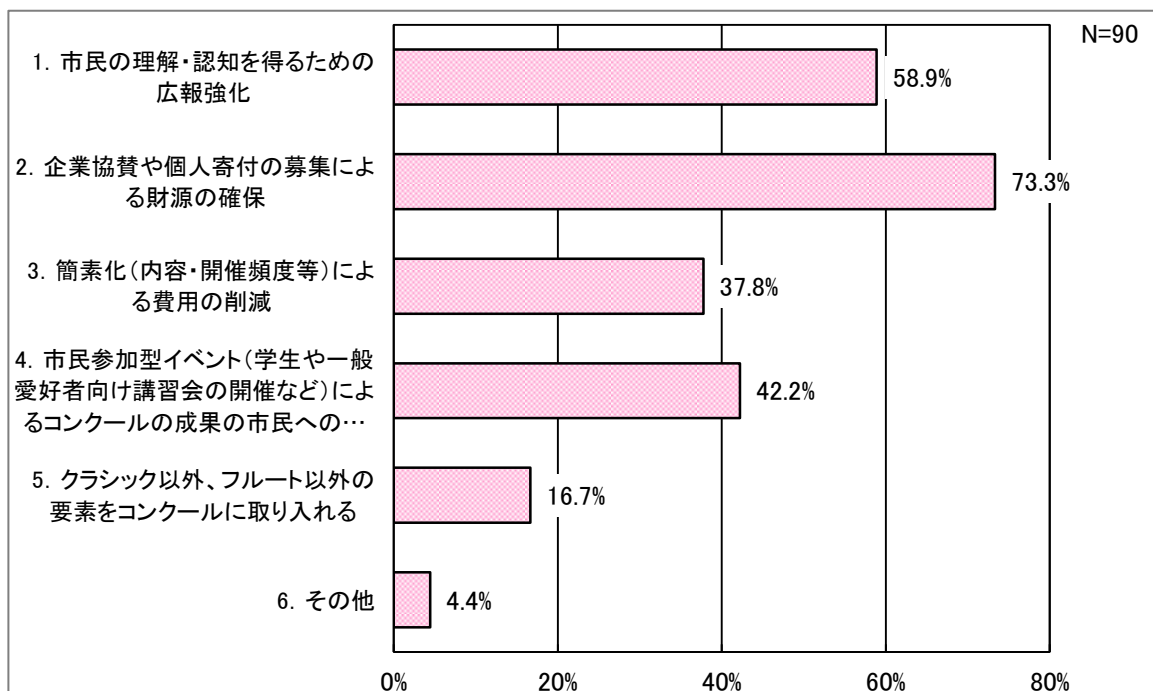
<神戸国際フルートコンクールについて>

昭和 60 年以來 4 年ごとに実施されてきた神戸国際フルートコンクールは、これまでに 8 回の開催を重ねてきました。ミュンヘン、ジュネーブに並ぶ世界 3 大フルートコンクールと言われており、世界最高峰のオーケストラ「ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団」の首席奏者など世界的な演奏家を輩出しています。一方で、1 回当たりの開催経費 6,000 万円のうち 4 年間で 5,000 万円を神戸市が負担しています。

問 4 神戸国際フルートコンクールは、現在、廃止も含めた見直しが検討されていますが、これについてどの思いが近いですか。



問4-1 <問4で、「2. 見直しの上、続けたほうがよい」を選択された方>
 コンクールを存続する場合、見直すポイントと思われることは何ですか（複数選択可）。



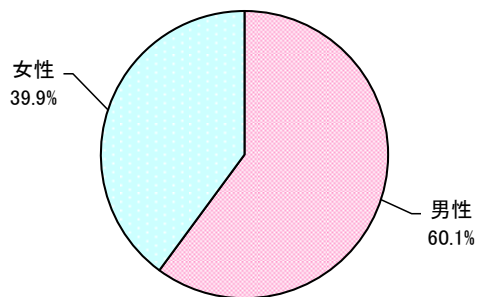
問5 神戸市の文化振興事業について、ご意見がありましたらご入力ください。

- ・文化は大事なので、コストだけにとらわれず、良い企画に取り組んで欲しい。
- ・神戸らしさのよくわかる事業については、積極的に開催・継続していただきたい。
- ・全国的に発信できるような文化活動を推進してほしい。そのために対象を絞って予算を集中的にかける必要がある。
- ・文化振興はとても大切な事業だと思うが、各イベントの広範囲に渡るアピール、市民の理解を得られる資金の使い方、簡素化などが必要かと思う。
- ・何を行っているのかをわかりやすい「広報」を強化すべき。
- ・老若男女が関わり合い、楽しみにできるイベントをしてほしい。
- ・費用対効果のないものは、廃止した方がよい。
- ・文化振興もいいが、産業振興が先決。客集めができないような文化なら、廃れても止むなしと考える。

ほか 77 件のご意見をいただきました。

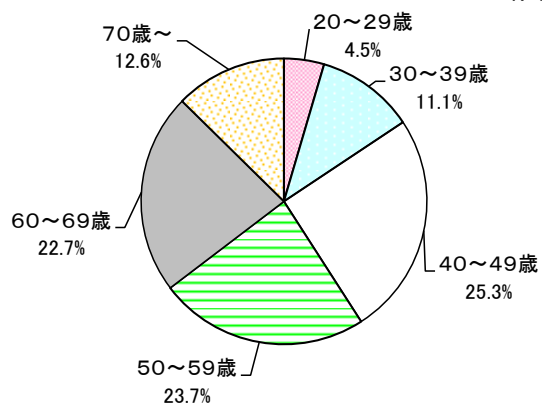
あなたの性別は

N=198



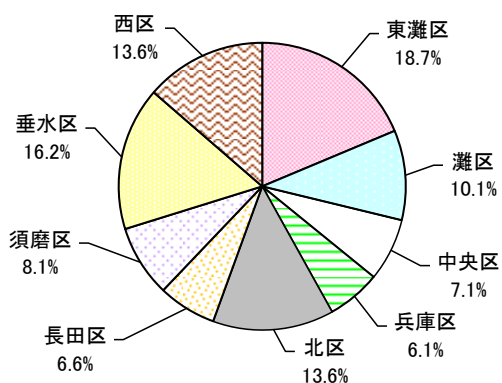
あなたの年齢は

N=198



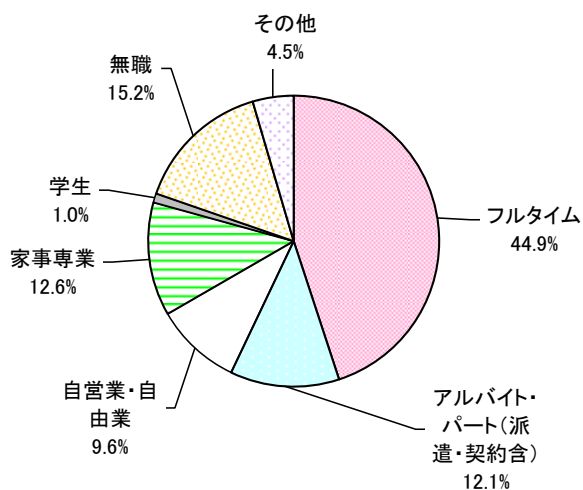
あなたがお住まいの区は

N=198



あなたの職業は

N=198



芸術文化施策に対する関心

N=198

